

スクラム

～立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第17号（8月3日発行）

文責 校長 高倉 満

志を立てる～夢への挑戦をしてほしい～

□東京オリンピック開幕まで1年となった先月23日、白血病からの復帰を目指す池江璃花子選手が国立競技場から世界に向けてメッセージを読み上げた。その中に「2020年という特別な年を経験したことで、スポーツが決してアスリートだけでできるものではないということ学びました。様々な人の支えの上にスポーツが存在する。本当にそう思います。」という言葉がありました。

今回、比較することはできませんが、みんなにとって大切な中体連大会が中止になり先生方や保護者の協力で代替大会として実施することができました。コロナ感染症対策をはじめ、今までにない配慮や準備をしていただきました。みんなは多くの人の支えがありスポーツができていることを忘れてはいけないと思います。また、「希望が遠くに輝いているからこそ、どんなにつらく

ても前を向いて頑張れる。」という言葉もありました。みんなにとっての希望とは何でしょう。半年後、一年後、10年後の希望（目標・夢）をみんなには持ってほしいと思います。その希望に向かっていく努力を続けてください。前に進む力を大切にしてください。



～二学期に向けて 夏休みに期待すること～

□中学生の時期は身体と心が大きく変化し成長します。でも、一方では精神的に不安になるのもこの時期だと思えます。さらに、勉強が苦痛になり何のために勉強をしているのか不安や疑問を抱く人もいるかもしれません。先生や親への反発、友達関係で悩むこともあると思います。周囲の期待に押しつぶされそうになり逃げ出したくなることもあると思います。おそらく池江選手やメダリストたちも同じような思いになった経験があるに違いありません。二学期を迎えるにあたり、これまでの自分をふり振り返り、自分の良さを見つけ、弱さに目をそらさずしっかりと自分を見つめ直すことが大切だと思えます。その時間が短い夏休みでも十分にあります。遊ぶこともいいですが、皆さんは大人への階段を一つずつ上がっています。決して自分だけが辛く苦しいものではありません。誰もが通る階段です。

ぜひ、二学期の始業式には志を立て、中学生生活の指針と強い意志を表明し、前向きに自分の将来を設計しようとする決意をもってスタートしてほしいと願っています。二学期は一学期の自分を反省し、自分と向き合い、自分の良さはもちろん、弱さや課題を素直に認める気持ちを大切にしてください。そして、将来の目標・夢に向けて失敗を恐れずに挑戦をしてください。先生達も皆さんを支え、励まして頑張っていきたいと思えます。失敗の数だけ強く、たくましく、そして優しくなれます。中学時代に目標や夢を描くことは、将来どのように生きていくかを考えることにもつながります。

■代替大会の結果（大会への生徒送迎や観戦体制への協力、ありがとうございました。）

・野球部	2位	・バスケ男子	惜敗
・ソフト部	優勝	・バスケ女子	惜敗
・サッカー部	4位	・剣道（個人）	立石桜弓さん2位 嶺帆花さん3位
・テニス男子	惜敗		宮崎はなさん3位
・テニス女子	惜敗	・卓球男子	団体2位
・バレー	6位	・卓球女子	惜敗
		・柔道	吉井中と交流試合